

新gTLD追加に向けたICANNの動き

— ここ一年の動き —

2008年3月28日

JPNIC

丸山直昌

gTLDとは

Generic Top Level Domain

“Generic”は“genre”の派生語で、「種」の意
「分野別トップレベルドメイン」という訳語を当てた。

大昔 (1994年3月以前)

.com .edu .net .org .int .gov .mil

- .com commercial
- .net network
- .edu educational
- .org organization
- .int international
- .gov government
- .mil military

その他のTLD

ccTLD Country Code TLD

- .jp .kr .uk .de など

.arpa Infrastructure TLD

- 初めは Advanced Research Projects Agency の意味
- 後に Address and Routing Parameter Area の略として
 - in-addr.arpa
 - ip6.arpa
 - e164.arpa

gTLD追加への圧力

1995年頃から

ICANNの成立(1998年10月)

追加の第一ラウンド

- 2000年8月15日に詳細募集要綱発表

.biz .info .name .pro .museum .aero .coop の追加

追加の第二ラウンド

- 2003年12月15日募集要項の発表、募集開始

.jobs .travel .mobi .cat .asia .tel の追加

(.xxx は一度は採択されたが後に否決、

.post は未だに交渉中)

New gTLD PDP(PDP Dec05)

gTLD追加のプロセスを提言するため

- これまでの反省に基づいて、第3ラウンド以降のやり方をデザインする意味？

2005年12月5日開始

(途中略 - 2007年1月17日ICANN報告会資料参照)

2007年の動き

- 6月18日 委員会が最終報告書確定
- 9月 6日 GNSO評議会で最終報告書承認、理事会に送付
- 10月29日 ICANNロサンゼルス会合でワークショップ開催
- 11月 2日 理事会で審議、ICANN staffに実装検討依頼。
(実装検討を見てから理事会としてのポリシー決定をする意図。
2008年1月の理事会で決める予定だったが、できなかった。)

理事会、ICANNスタッフの動き

2007年

- 9月 6日 「募集要項」の作成を手伝うコンサルタント募集(12月21日に2社と顧問契約)
- 12月21日 「gTLD申請文字列に関する紛争解決」を担う事業者募集

2008年

- 1月18日 競売の企画専門家募集
(gTLD申請の競合発生時を想定して)
- 2月 6日 新TLD追加に伴うDNSの安定性に関する意見募集(3月7日終了)
- 4月17日 理事会ワークショップ(予定)

理事会が直面している問題

最終報告書にある複数のポリシー勧告は、互いに複雑に絡み合っており、実現方法を見つけることが困難

(2008年1月23日理事会でのスタッフからの報告)

検討されている申請処理手順

- 募集期間を決めて、その間に来た申請は平等に扱う。募集件数に制限は原則付けない(技術的な理由、ICANNの申請件数処理能力は別として)
- 第4、第5のラウンドも、需要がある限り行う
- 申請者の能力についての審査
 - 技術的
 - 財政的
 - ICANNとの契約遵守
- 申請文字列に対する審査
 - ICANN側の判断に不服がある場合の異議申立処理手順が必要
- 同じ文字列を希望する応募者が複数いた場合の処置
 - 競売？

申請文字列に対する審査

- 技術的に問題無いものであること
- RFC2606で除外されているものでないこと
- 既存のTLDと類似のものは避ける
- 著名な商標と類似のものは避ける
- 公共的・社会的な妥当性
- 申請者の言論の自由は尊重する

今後

なお紆余曲折があり得る状況

- GNSO最終報告書の扱いについて、理事会は困難な判断を迫られている
- GNSOのポリシー立案能力に対する疑問が噴出される危険性